

三田 崇^{み た たかし}さん（広島県廿日市市出身）

2014 年度 3 次隊 青年海外協力隊

派遣国：パプアニューギニア 職種：コミュニティ開発

2016 年 1 月 3 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

魚市場の活性化を支援

パプアニューギニアの首都ポートモレスビーから北東へ約 800 ㎞に位置するココポ市に住んでいる。配属先は、ココポの北隣のラバウルにある東ニューブリテン州漁業水産資源局。ここを拠点に州政府が管理する各地の魚市場を活性化させ、地元の漁業者を支援しようと試みている。現在は市場で氷の販売や魚の調理法の指導を重ねている。

赴任直後は現地の人の考え方が理解できず、市場関係者と

言い争うこともあった。自分の活動が本当に人の役に立っているのか心配になり、弱音を吐いたこともあった。「タカシが来てくれて、話を聞いてくれるだけで幸せなんだよ」。自分の無力さを痛感していた時、そう言ってくれた人がいた。この言葉を聞いた瞬間、胸が熱くなった。人の優しさを知り、もっと頑張らなければと思った。

ココポでは飲食店や日用雑貨など新しい商店ができていますが、経営者のほとんどは中国系をはじめとする外国人。今まで以上に外国製品が輸入されるだろう。一方、道路などインフラの整備が不十分。いまだに貨幣が流通していない村々もある。地域間格差がますます広がっていくのではないかと懸念している。

私には、大勢の人の生活を変えるとといった大きなことはできないが、生活の向上に向けた小さな可能性や、きっかけをつくることはできると思っている。帰国はちょうど 1 年後。少しでも周囲の人が笑顔になってくれれば、と思い活動を続けていきたい。



消費者に魚の調理法を教える三田さん（右端）